

2017.1

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京00100-0-38184

〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3
TEL. 03-3814-3591
FAX. 03-3814-3590

Website: <http://www.rizhong.org/>
E-mail: info@rizhong.org



A先生の新語コーナー



zhūdào zhǔyì “猪道主义”

豚道主義。人道主義から生まれた言葉。中国都市部の消費者間では豚の飼育環境に対する関心が高まり、多少高価でも「豚道的（人道的）なやさしい環境下で飼育、加工された豚肉を購入したい」と述べている。「中国公衆豚肉消費意識調査報告書」によると、動物福祉の重要性に対する消費者の意識が向上しており、豚の飼育法に関する質問に対し、83%以上の人が狭い場所に閉じ込めるのではなく、放し飼いを希望する」と回答した。
(A)

明けましておめでとうございます。

新年好！年頭にあたり皆様のご多幸ご健康を心よりお祈りいたします。日中学院は昨年創立65周年を迎え、これを記念し「中国へかける橋V」の編集に取り組んできました。多くの皆様のご協力を得て、2月に発行できる見通しとなりました。

昨年9月29日、日中学院の前に右翼団体の街宣車がやってきて、日中国交断絶を叫び、ヘイトスピーチを行い、あげくの果て、日中学院の玄関ガラスに足蹴り、ヒビをいれるということがありました。今回犯人は現行犯逮捕です。類似のことは2005年にもあり、その時は玄関に金属弾が打ち込まれました。この時の犯人が逮捕されたという情報は得ていません。日中関係が芳しくないときに似たようなことが繰り返されます。

2016年7月、日中学院運営会議は次のような決定を行いました。

- ① (2月11日を平常授業日としての扱いを変更し2018年より) 休日とする。
- ② 歴史認識等についての見識を深めるための講演会等の活動を学院行事として取り組む。

日中学院運営会議は1982年、「建国記念の日」に平常授業を行い、反対の意思表示とするものである」との声明を出し、この「祝日」のもつ意味、歴史を考えていこうと毎年平常授業を行っています。

当初は講演会や討論会を催し積極的に取り組んでいました。しかし、この「祝日」が、その意味、歴史とは関わりなく、休日として日本社会に定着して行く中、学院が平常授業とし続けることに疑問の声が聞こえることができました。

一方当時、教科書問題、靖国神社公式参拝、「君が代」国歌化、元号法制化問題と見識を問われる中、運営会議は1984、1986年に『2・11を考える』との声明をだし平常授業を継続することを確認しました。

その後これまで30年間、平常授業を継続してきました。2016年3月運営委員より「受講生からカレンダーどおりに休日にしてほしいとの希望も多く、また時代が変化してきていることから再考してもいいのではないか。」との提起がなされ、延べ4回の討議を行いました。

その結果、この「祝日」はすでに休日として広く日本社会に定着しており、授業日とすることは、当日の受講生の出席状況等から、受講生にも不都合をもたらしているとの認識のもと2018年より2月11日は休日とし、授業を行わないことを決定しました。

一方、この討議の中で、2月11日を授業日とすることにとられるのではなく、不断に歴史認識を深めることの重要性を大方の運営委員が認識していることが確認できました。

「建国記念の日」の制定を推進し、また現在「建国記念の日」に奉祝活動を行っている勢力は、1931年から1945年までのあの戦争について、「大東亜戦争」、「日本の自己防衛の戦争」、「アジア解放戦争」等々と表現しています。日中両国民に極めて大きな犠牲をもたらしたあの悲惨な戦争の反省のもとに創設された日中学院は、あの戦争について歴史を繰り返さず学び、悲劇を2度と繰り返さないために歴史認識を深めるべきだと考えています。そのための一つの活動として、食わず嫌いにならず歴史認識等についての講演会等を開催することを毎年の恒例行事とする、これが運営会議の決定②です。

今年も考えながら進む日中学院です。どうぞよろしくお願い致します。

2017年元旦
日中学院運営会議
学院長 吉田隆司



新年おめでとうございます。



2017年の年初め、感想は如何でしょうか。何か、どんな小さな事でもいいから“希望”が持てるの良いですね、又持ちたいですね。

アメリカの次期大統領にドナルド・トランプ氏が誕生したことは誰もが想定外と思ったのも道理でした。でも、実際には彼の誕生で、驚き、失望し、恐怖に陥った人が少なくありません。彼のアメリカ一國主義、“自分の国さえよければ、他の国なんか、どうでも良いと”そのアメリカも白人中心主義のアメリカですよ、何と寒々しい、恐ろしい考え方でしょうか。それがアメリカのトップの人の考える事なのです。私も恐怖を感じます。

それだけでなく、今世界は、貧富の格差が激しく、あちこちでテロがはびこり、戦争をしている国では、戦争が収まる気配はなくて、多く人が、とりわけ力の弱い女性や子供が亡くなり又は難民となって他国で震えています。世界はこれ以上悪くなっていくのでしょうか。

私達は、何時でも、どこでも、想いもかけ無い事が起きてても不思議でない世の中に住んでいま

す。何よりも重要な事は、目を広い世界に向けて、物事を自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の頭で良く考えて判断し進んで行く事です。

新年なのに明るい挨拶が出来なくてごめんなさい。でも、最後に皆さんに伝えたい事があります。それは、ヒラリー・クリントンさんの敗北宣言の中の1部です。

「小さな子供たちに伝えたい、あなたの価値と力を、そして世界には追い求めるに値するチャンスと、かなえるべき夢が有ることを疑わないで。」

この「小さな子供達」を「若い皆さん方に」とかえて私の新年の挨拶とさせていただきます。まず、健康を保ち、活力を持って、新しい年をお過ごしください。

2017年1月1日

日中学院 校友会会長 小田 富裕子



図書室 だより

この本 おもしろいですよ ～ 同学おすすめの一冊 ～

昨年秋、図書室にヒット作が出ました。目利きの老師們が本科北京短期研修の折にどっさり現地で仕入れてくださった「中文小书架」と「学汉语分级读物」のシリーズです。この良さをもっと皆さんに広めたいと、別科の老同学益子絃さんをお願いしたところ、快く感想文を書いてくださいました。

《学汉语分级读物・民间故事・文学故事》

益子絃

ドナルド・キーン曰く「日本の国語教育はどこか間違っている、源氏物語を始めから古文で読む指導をする、文法の学習から始める、そこで嫌いになってしまう人が多い」「私は英訳で読んで非常に感動したのがきっかけで、日本文学の世界にのめりこんだ」と。私たちの身近なところにも、易しく読めて楽しめる中国の古典がありました。とても原文で中国文学を読むには気後れしてしまうほくのような輩には、このシリーズはとってもありがたい。このシリーズをまだ知らない同学には、ちょっと図書室に立ち寄って何冊かをペラペラページをめくることをお勧めしたい。ほくはまだ10冊しか読んでいませんが、読んで感じたうれしいことを、次の3点に絞ってみました。

- ① 辞書なしで読める
- ② アニメのようで生动、多彩
- ③ 単純明快、小学生向きにいていねいな解説などです。

具体的に言えば、

①民間故事は漢字500字を知っていれば読める、文学故事は漢字800字で大丈夫、というように巧みにアレンジされていることです。轻松阅读。図書室の栗原さんおすすめ、辞書なしで読めると。事実その通りでした。一気に読めた、嬉しかった。《花木兰》が一冊目。かつて九年义务教育三年制初级中学教书《木兰诗》で苦劳しましたが、今回はらくちん、しかも、なぜ女であることがばれないでいられたかという初歩的な疑問にもちゃんと答えが用意してあり、嬉しくなり、他の本も読みたくなりました。



②水滸伝3《武松》虎退治の描写はアニメよりビジュアルだった。どの物語も始めに主要人物のイラストで紹介するだけにとどまりません、クライマックスシーンには塗り絵をしたくなるようなお絵かきの下絵があります。《画上的美人》は絵の中から抜け出る絵があり、《梁山伯与祝英台》には、坐得不正、站得不直、衣服不整齐のイラスト、『論語』に出てくる『礼』をビジュアル化しています。祝英台は、『ロメオとジュリエット』男装のジュリエットで、花木兰は男装の勇者であるのと対照的、時代は東晋、書聖王羲士の息子王献士は梁山伯の友だちで、習字のお手本も載っています。



③《陈世美》辞書を引くと、高い地位を得た後心変わりした男、(広く) 移り気な男との説明でした。松本清張『砂の器』の主人公和賀英良のような、こんな男が生まれた社会制度と科挙試験を冒頭で解説してからストーリーを展開しています、実に親切です。水滸伝4、《宋江》は、梁山泊108傑のトップにいるのに何か茫洋としていてつかみどころがない人物。今まで読んだ水滸伝ではあっちこっちに飛び飛びに登場していて、ぼくには具体的な人物像をつかめなかった。この本のように「列伝」にすればよくわかる。宋江がシテ、李逵がワキ、徳の主人、義の従者として見事だ。《聊斋志异》の一つ《聂小倩》は、《聊斋志异》とはなにかの解説から始まるのも親切な気配りです。



《嫦娥奔月》は子どもじみていて、《红楼梦》は、まだその面白さが分からない。源氏物語文学に惹かれないように、好みの問題かもしれない。
PS: さて、「この一冊」となると迷ってしまいます。あえて絞れば《花木兰》だろうか?なぜなら、モクレンの花の姿になぜか魅了されてしまうからです。

— 寄 贈 —

下記の方々から寄贈がありました。ありがとうございます。

- 平波文孝様 (著者) より『我が人生の旅路の想い』
- 唐勝春様 (著者) より『中国ゆかりの地 (日本名勝 中国淵源)』
- 淳于永南様より『尺素集』
- 中国残留孤児問題フォーラム様 (主催者) より『中国残留孤児問題フォーラム』DVDおよびPCデータ (録音、写真)

2016年10月2日 江戸東京博物館において開催された当フォーラムに本学院は後援団体として参加しました。その模様を是非ご覧ください

陳淑梅先生講演会「中国語の学び方、楽しみ方（第2弾）」

～成語や慣用句から見る中国人の価値観～

11月26日（土）陳淑梅先生をお招きし、学院302・303教室で講演会が開催されました。2月に行われた「中国語の学び方、楽しみ方」の第2弾で「成語や慣用句から見る中国人の価値観」が副題にされていました。むずかしそうなテーマにちょっと緊張気味の聴衆を前に「テーマは堅そうですが、実は易しいですから」と前置きをしてから、陳先生らしい柔らかな空気の中、お話は始まりました。

はじめは「中国人の日本観」について。秦の時代、長生不老の妙薬を探しに蓬萊と呼ばれる東の国に向かったという徐福。その徐福がたどり着いたのが日本で、その時に同行した選ばれし童男童女が日本人の起源となった。だから中国人は、日本人は優秀な民族であるとかどこかで信じていて、日本に憧れや親しみを感じるのと同時に、ちょっと憎らしいと書いているところもあるのだと紹介されました。

また、「中国人の金銭観、価値観」について紹介する中で「爆買」の理由には“穷家富路（たとえ家では貧しい暮らしをしていますが、旅に出たら金を出し惜しむようなことはしない）”や“打肿脸充胖子”（太って見せるために、顔を殴って腫れさせる…虚勢を張る）”などの言葉を紹介しながら、そこに見えてくる中国人の「旅に出たらけちけちないで大いに金を使い、ふだんの礼をそこで返す。また、先祖に恥をかかせないよう時には見栄を張ることも必要だ」とする考え方についてもふれられました。その中で日本人が土産を買う際には、たとえば職場に15人いれば、15人に一つずつ行きわたるような土産を買うのに対し、「中国人は今後付き合いいきたい相手を選んで、その人物に対して大きな土産を送る」という考え方の違いについてや、中国人の伝統的な価値観「孝」や「順」についても「大孝子」が「中国人の最大のほめ言葉」であると挙げ、お話しくだ

さいました。

「中国人の“人生智慧（うまく生きる知恵）”を表す成語・諺」の中では、“好事不出門，坏事传千里（悪事千里を走る）”や“良药苦口利于病，忠言逆耳利于行（良薬口に苦し）”のように日本人になじみのある言葉から、他にもさまざまな言葉を挙げられ、中国の子供たちが親からどんな言葉を教えられ、どのような見方、考え方を伝えられているのか、そうしたことを直接に聞く、中国語学習者にとってはたいへんに貴重な機会となりました。

今回の講演は、まさに陳先生が最後にあげられた“同君一席話，胜读十年书（あなたの話を聞くことは、10年の読書にも勝る。‘听君～’とも）”でまとめられる内容でした。

講演の中で、陳先生が《知日》という雑誌を紹介され、この字を縦に並べて読むと「智」になり、なかなかしゃれた名前だと話されましたが、こうした漢字の形や意味、そのおもしろさについてもすぐに共有できる、やはり中国人と日本人は漢字の国としてつながっているのだと思いました。《知日》は図書室にも配架されています。ぜひ、図書室で実際に手に取ってご覧ください。（専任講師 小金井京子）



日中学院創立65周年記念 温又柔さん講演会 「私が中国語と仲良くなるまで」

今年、日本エッセイストクラブ賞を受賞され、現在作家としてご活躍中の温又柔さんをお迎えしての講演会です。

台湾で生まれ日本で育ち、中国語を話す両親のもと、中国語を身近に感じていた子供時代。大学で学んだ中国語“普通話”と両親の母国語“國語”との違いに驚き、戸惑い、悩んだ後、日中学院の別科や本

科研究科で学ぶ中、様々な出会いにより改めて中国語を学ぶ楽しさを感じられるようになったという温さん。今回は“日本語育ちの台湾人”であるご自身がどのように中国語を探究していったかについてお話しいただきます。

日時：1月14日（土）13：00～15：00

※開場時間12：30

場所：日中学院 302・303教室

参加費：500円（当日お支払いください）

～三行日記 五七五～

春忧樱花来 愁起蝉声伴秋风 人生很短暂

杉井同学

春は、桜の到来に一喜一憂、秋は、風に届けられた蝉の鳴き声が哀れ。人生が短く儂いからこそ今の一日を大切にしなければなりません。季節の輪廻転生を楽しみながら常に新たなチャレンジをする気持ちを忘れず今日の朝日を迎えます。



最近我很忙 今天我们学汉语 明天我想玩

泉井同学

最近、とても忙しい。今日は中国語の勉強だけど、明日は遊びたい。これは、仕事の傍ら語学学校で週二日、中国語を勉強している会社員の方の作品です。遊ぶ時間もほしいけれど、学ぶ時間もしっかり確保されているのがすばらしい。学ぶことで得られる充足感と達成感は、仕事とも、遊ぶ時間とも、ちょっと違う気がします。



喜欢学汉语 不知学到多少岁 每天学一点

伊藤同学

退職後、悠々自適の日々、中国語の勉強を楽しんでおられる元企業戦士の方の句。いつまで学べるかはともかく、毎日少しずつ学んでいけば、奥深い境地に近づける……そんな気概が滲み出ています。

国際文化フォーラム微博より
解説：胡興智／イラスト：浅山友貴



「君の名は」？

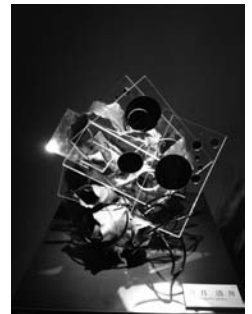
胡清舟

生け花を何年もやっても、花の名前はなかなか覚えられず、時々「君の名は」と尋ねたくなる。特に通訳の際は、大きな花、赤い花などしか言えず、歯がゆくもどかしく、顔が花より赤い時もある。

名前と言えば、自身の名字「胡」もなかなか覚えていただけず、「湖」や「糊」を書かれることも一度二度ではない。極め付けは年賀状の宛名に「故」と書かれていたこともあった。「類は友をよぶ」のためなのか。花の名を覚えられない報いだらうか。名字が違っていても、文面より滲み出た暖かさに心が癒される。

古代中国語で「故人」「故友」は「古き友」「親友」の意味がある。「異客」としては、「古き友」と呼ばれた気分になる。

異郷の地なのに、どこか懐かしい日本という国。その名を尋ねれば異郷の地、それなのに、戻って来る度、安堵するのはなぜだろう。懐かしい僕の故郷の古い記憶を湛えて息づく国、「君の名」は日本。



1月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
1	2	3	4	5	6 ●仕事始め 開門 ●別科公開講座 入門/基礎18:45～	7 ●別科公開講座 入門/基礎13:00～
8	9 ●祝日	10 ●本科・日本語科 授業再開 ●別科264期授業 開始	11	12	13	14 ●温又柔先生 講演会 (13:00～)
15	16 ●中国語検定受付 開始	17	18 ●日本語科 2年 国会見学	19	20 ●本科2次 受付 締切/本科追試 (~26日)	21
22 ●本科2次入試	23	24 ●本科2次合格 発表	25 ●本科3次受付 開始	26	27 ●日本語科 春節 パーティ	28 ●本科生のため 公開講座/春節
29	30	31				

●2月の日中学院

- ・1日…日本語科10月期第1期募集開始
- ・7日…本科・日本語科合同弁論大会
- ・11日…本科研究科・別科平常授業
- ・15日…中国語検定受付締切

・17日…本科3次受付締切

- ・19日…1日集中講座/本科3次入試
 - ・20日…日本語科定期試験 (~24日)
 - ・21日…本科定期試験 (~27日)
- 本科3次合格発表

・22日…本科4次受付開始

- ・26日…藤堂先生 命日
- ・28日…日本語科授業最終日



◀今後の公開講座の日程▶

- 本科 1月28日(土)9:30～13:00
全日制本科へのご入学をお考えの方に向けての公開講座を開講します。本科在校生との交流会も予定されています。
- 別科 3月17日(金) 18:45～20:45
3月24日(金) 18:45～20:45
3月25日(土) 13:00～15:00
入門講座、基礎講座を開講します。新たに日中学院での受講をお考えの方は、是非ご参加下さい。

◀特別講座のご案内▶

早朝リスニング講座(鄭剣華)

早朝の時間を有意義に使って、リスニング力を鍛えませんか。今の中国の話題を取り入れながら、中国語検定試験3級程度の内容を学習していきます。これまでに習った中国語の力を維持していきたいという方に向けた、8回の完結の講座です。

日時：2017年1月24日(火) 全8回

火曜日・7:30～8:30

授業料：14,800円 ※入学金なし

その他、特別講座も多数開講します。詳しくはHPをご覧ください。

◀お知らせ▶

○2月11日(土)は、通常の授業日となります。ご注意ください。

○催事のご案内

「上海歴史建築巡り写真展」

主催：日中友好会館・上海市歴史博物館
会期：1月18日(水)～2月12日(日) 月曜休館
会館時間：10:00～17:00※初日は14:30～開幕式
入場料：無料
場所：日中友好会館美術館
高層ビルが立ち並ぶ、世界でも有数の国際都市、上海。しかし、外灘に代表される地域には、1920年代に建てられた多くの西洋様式の建築が残されています。上海市歴史博物館との共催で、さまざまな顔を持つ魅力の詰まった上海の風景を写し取った写真を展示します。是非お越しください。

決定！第20回日中学院倉石賞

受賞者：日中文化交流市民サークル'わんりい'
推薦者：花岡真寿美

本年度日中学院倉石賞が決定しました。

授賞式：2月18日(土) 予定

詳しい内容は、来月号でお知らせします。